

## 先端技術の挑戦と人材育成



先端技術挑戦課 先端技術挑戦班

主任 **小野 裕明** ono hiroaki



### 先端技術への挑戦を支援

大分県内の企業が課題を解決するために、先端技術導入の挑戦に対する支援を担当しています。支援内容は大きく2つあり、先端技術導入に関する『経費』の支援と技術を使いこなす『人材育成』の支援を行っています。

### 課題の掘り起こしや補助金による支援

ひとくちに『先端技術』と言っても様々な技術があるため、企業課題の解決に役立つか否か分からない方が多いと思います。そこで、関係団体と共に県内企業課題の掘り起こしを行ったり、解決に役立つ先端技術を提案したりしています。また、実際に導入に必要な費用面の負担を軽減するための補助金も準備しています。

### AIを活用した検品やGPS等による林業従事者の安全確保

具体的な事例として『AI検品』の導入を支援しました。商品に不具合がないか検品を人が行っていた企業が、人手不足で困っていたため、AIに画像をたくさん学習をさせてAIによる検品を実現させました。また、森林伐採作業の際に、切った木や重機が作業員と衝突する事故を回避するための『GPS技術』の導入を支援。GPS機能を使って作業員同士や作業員と重機が近づくとアラームで知らせる技術を支援。こうして支援した技術は、同じ課題を抱える事業者にも活用してもらえるように展開していくこととしています。

### プログラミング教室

人材育成の一環として子ども達にプログラミング教室やプログラミングコンテストを実施しています。ひょっとしたら未来のスティーブ・ジョブズが大分県から誕生するかもしれないので将来が楽しみです。これからもお困りごとを解決する一助となれるように頑張っていきたいと思います。

**小野 裕明**  
プロフィール

大分県大分市出身 34才 高知県の大学を卒業後、大分県庁へ。  
趣味は釣り、好物は焼肉。座右の銘は『腹が減ったら何を食べてもうまい!』

#### 大分の語り部とは？

大分の文化を未来に語りつなぐサウンドメディアで編集長は大分県産タレントのカボスひろし。フリーペーパーをはじめ、WEBやSNS、YouTube動画も活用し、大分の語り部達の言葉を広く深く発信中。

#### 大分の語り部 vol.09

発行日：2022年1月1日  
制作：Cabooosu (カボース)  
編集長：カボスひろし  
WEB：https://oita.link



# 大分の語り部

大分の文化を未来に語りつなぐフリーペーパー



## 未来の語り部

大分県商工観光労働部

## 先端技術挑戦課

次世代モビリティバスが街を走り、アバターが大分のお店と世界をつなぎ、大分空港が宇宙港になる。先端の技術によってワクワクするような大分県の未来が始まろうとしています。先端技術を活用し地域の課題解決と新たな産業創出に取り組む大分県先端技術挑戦課の3人のインタビューをお届けします。



TAKE FREE

# 大分と世界をアバターで繋ぐ



先端技術挑戦課 先端技術挑戦班

副主幹 **林 孝憲** hayashi takanori



## 先端技術挑戦課 2班 16名体制

先端技術挑戦課はアバターや次世代モビリティに取り組む『先端技術挑戦班』と、宇宙港や衛星データの活用、そして今年2月末から開催されるISTSの準備を担当する『宇宙開発振興班』の2班16名体制です。先端技術を活用した地域の課題解決と、新たな産業創出に取り組んでいます。

## アバターによる地域課題解決、新産業創出に挑戦！

私は主にアバター活用に取り組んでいます。アバターとは遠隔操作ロボットのことで、遠隔地にあるロボットに入り込み、意識、技能、存在感を瞬間移動させ、リアルタイムでのコミュニケーションや作業が可能になります。距離という壁を取り払うアバター技術が、大分県の地域課題の解決や新たな産業振興にも活用できるのではないかと考え、いろいろな分野での実証実験を行っています。

## アバターで観光・買物・葬儀

2018年から現在までの3年間、様々な実証実験を行ってきました。例えば、うみたまごさんでのアバター観光、大分市内五番街さんでのアバターショッピング、奈良国立博物館さんでのアバター社会見学、アバター葬式参列など実験用途は様々です。昨年秋から、道の駅のつはるさん、かまえインターパークさん、そして三和酒類日田蒸留所さんの県内3か所でアバターが導入されましたので、皆さんにもお試しいただければと思います。そして、このアバターロボットは県内企業が製造している“Made in Oita”、大分生まれのロボットがこれから日本中に広がっていきます！



## より身近により便利に

アバターはこれからビジネスフェーズに入ります。これから先、大分県内の様々な場所でアバターを見かける機会が出てくると思います。ぜひ触ったり試したりしてみてください！

**林 孝憲**  
プロフィール

宮崎県宮崎市出身 41才 2013年に中途採用で大分県庁へ。  
趣味は鉄道撮影で一番好きな電車は昔の「にちりん」。座右の銘は『そなえよつねに』

# 大分から宇宙へ宇宙港開港



先端技術挑戦課 宇宙開発振興班

主査 **東上 佳祐** tojo keisuke



## 宇宙港開港と宇宙関連産業の振興

宇宙開発振興班では、大分空港の宇宙港化や衛星データの利活用など宇宙関連産業の振興に取り組んでいます。また2022年2月～3月に別府市で開催予定の『第33回宇宙技術および科学の国際シンポジウム (ISTS)』の準備なども行っております。

## 世界に広がる宇宙港誘致合戦

2020年4月にヴァージン・オービット社と大分県がパートナーシップを結び、大分空港を宇宙港として活用するための取組がスタートしました。これまで国内には、鹿児島県の種子島や内之浦等にJAXAのロケット打ち上げ施設がありましたが、他の拠点はありませんでした。しかし、宇宙市場の拡大を受けて、近年では北海道や和歌山県、沖縄県など国内の複数の場所で宇宙港整備に向けた取組が進んでいます。国内だけでなく世界中の様々な国で北米を中心に色んな国で誘致合戦が始まっています。

## 観光や産業振興の起爆剤に

ヴァージン・オービット社とはウェブ会議を中心にやり取りを継続的に実施しており、最速で2022年の打ち上げを目指して取組みを行っています。世界各国が宇宙産業に目を向け、民間企業の参入が進む中、アジア初の水平型宇宙港として大分空港を活用することは大きな注目の的になると思います。大分県民の皆さんからも「宇宙港が大分県の観光や産業振興の起爆剤になって欲しい」という、ご期待の声も多くいただくようになりました。みなさんのご期待に応えられるように力を尽くしていきたいと思っています。

## 宇宙を身近に感じられることを目指して

2022年2月26日～27日にISTS開幕イベントとして一般の方々にも広く参加いただける『おおいたそらはく』を開催予定としています。JAXA現役宇宙飛行士の講演や、「映画の中に現れる宇宙」というテーマの座談会、バーチャル宇宙飛行士選抜試験体験など、宇宙に詳しい人も詳しくない人も、大人も子どもも楽しめるイベントの準備を進めていますので是非、大分県民の皆さんにもご参加いただければと思います。大分県民の皆さんにとって宇宙を身近に感じられる時代が目の前に迫っていますので、ぜひISTSや宇宙港を楽しみにしていただければと思います。

**東上 佳祐**  
プロフィール

大分県別府市出身 36才 電機メーカー勤務を経て、2016年に入庁し2020年より現部署へ。ガンダム好き。座右の銘は『吾唯足るを知る』